

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都市 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ 】
2 実施対象者	京都市立 桂 中学校 第1学年 6クラス（238名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合（人権学習） ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすバスケットボール選手との交流を通して障がいのある人たちと共生する社会について考える。 ・車いす使用体験や体験談を聞くことを通して、誰もが気持ちよく生活するために必要なことについて考える。 ・自分のクラスや学年を振り返り、互いに認め合う集団を築こうとする。
5 取組内容	<p>(事前指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックとパラリンピックを題材とした教育プログラム 多様性と共生社会 — インクルーシブな社会を考える — <p>(事業当日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師紹介 ふれあいの杜 坂野館長 山本選手 東選手 ・車いすデモ ・車いす体験（全員） ・車いすバスケットゲーム体験（女・男 各5人 各3分） ・車いすバスケット選手経験談（30分） ・代表生徒あいさつ ・教室にて感想記入（まとめて坂野館長へ提出）
6 主な成果	<p>(生徒の感想より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3人の方に来ていただいて、山本さんの話はすごく心に響き、東さんの車いすがとてもかっこよかったし、坂野さんの熱い声援があって、とても車いすについて興味が持てました。私たちに出来ることは

	<p>全力でしたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> •山本さんの話のように道端にごみや自転車を置かないようにしていきたいと思います。そうすることで障害のある人もない人も同じように笑っていただける社会になればいいなと思いました。 •東さんのスピード、山本さんの的確なパス。そのどれもがとても素敵に見えました。また、道端に様々なものが落ちているのは私にとっても気持ち悪いのでなんとかしてなくなって欲しいです。また、“バリカン京都”見ようと思いました。 •どんな絶望が山本さんの目の前にきても、希望を持ち続けた山本さんの心は強く美しいなと思いました。自分も山本さんみたいに何かあっても立ち直れる強い心を持てるようにしたいです。 •あきらめなければ東さんや山本さんのように車いすバスケットが出来るのだなと思いました。その活動を支える坂野さんの存在もかっこいいと思いました。 •山本さんは、ケガをしても前向きなのですごいと思いました。私もこれから前向きでいきたいです。2020年楽しみにしときます。 •バスケットボールが出来るまですごく努力してきたんだとよく分かりました。仲間というものがどれほど大切か気づかされました。車いすに乗っている人は、世の中にもいっぱいいるけどつらい思いをよい思いにするのがよいことだと思いました。山本さんのお話を聞いて、交通事故の恐ろしさやリハビリのつらさ、体の大切さが分かりました。たとえ、体の一部がマヒしたり使えなくなってもあきらめずに前向きになってリハビリに取り組めば、楽しいことに近づけるんだと感じ、私もあきらめずに前向きに取り組もうと思いました。貴重な体験が出来て良かったです。 •山本さんの話を聞いたとき、私は思わず考えました。これが自分だったらどうなんだろう。自分が歩道で歩いた時に自転車が置いてあったら困るだろうな。そんな事を思いつつ、みんなで助け合って自分の生活に取り入れていきたいと思いました。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 事前指導で Panasonic 教育支援コンテンツ使用 (1 時間) (2) 事後学習で生徒同士の感想の共有と坂野館長の“やさしいパス”についてグループで話し合い、クラスで共有する時間を持つ (1 時間)

8 主な課題等	・車いす体験、車いすバスケットボール体験、選手の経験談など生徒にとっては大変貴重な時間となった。2時間の枠であったが、生徒にとってはあっという間の時間であった。最後に感想、質疑応答から意見交流の時間確保をすることでもっと深めることが出来るのもう少し時間が必要であった。
9 来年度以降の実施予定	大規模校のため、全校実施は厳しいが1年生の後期に来年度も是非活用できることを伝達していきたい。